

北海道産業競争力強化戦略 具体的取組の進捗状況表

機関名

北海道総合通信局

当面の取組	事業名等	進捗状況等
1. 戦略的に展開すべき「食」、「観光」関連産業の振興／(1)食関連産業(農林水産業を含む)の振興		
担い手確保と農地の利用集積、計画的な生産基盤の整備、技術の開発・普及、環境と調和した生産活動の推進などにより、農林水産業の競争力の強化を図る。	戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度SCOPE地域ICT振興型研究開発において道内の農林水産業の競争力の強化に資する研究開発課題として、「漁船排出CO2の削減を目的としたICTを活用した定置網漁支援に関する研究開発」(研究代表者 公立はこだて未来大学教授 和田 雅昭)を採択。(7月18日報道発表)
1. 戦略的に展開すべき「食」、「観光」関連産業の振興／(3)「食」、「観光」関連産業振興のための戦略／①戦略的マーケティングの実施		
拡大するアジア、イスラム圏等の市場の獲得を目指し、常設展示場の設置に向けた実証事業や、放送コンテンツの海外展開の促進など、継続的な海外市場調査を行い、北海道の食や観光の情報発信を実施する。	放送コンテンツの海外展開強化促進モデル事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度補正「放送コンテンツ海外展開強化促進モデル事業」において北海道放送「モンゴルで北海道企業が展開するビジネスを放送コンテンツで支援する事業」 北海道テレビ放送「ASEAN3か国での道産品販売モデル事業」 北海道文化放送「ABU(アジア太平洋放送連盟)とのマッチング事業」の3件が採択
1. 戦略的に展開すべき「食」、「観光」関連産業の振興／(3)「食」、「観光」関連産業振興のための戦略／②戦略的な連携の推進 (iii)業種間連携の推進		
それぞれに専門性を有する異業種が有機的に連携し、研究機関との新技術開発を行いながら、新商品開発、新サービスの開発に取り組む。	ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・6月27日から提案募集開始。 ・7月17日に当局会議室においてICTイノベーション創出チャレンジプログラム公募説明会を開催。 ・一次提案審査委員会に道内3機関が登録。(7月28日現在)

2. 戦略産業と一体的な取組が必要な産業の振興／(1)地域を維持するヘルスケア産業の育成		
ICTを利活用し、超高齢化社会における医療機関等の情報連携基盤等の整備推進を図る。	スマートプラチナ社会構築事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「スマートプラチナ社会構築事業」においては、「ICTシニアコミュニティ形成促進プロジェクト」(7/11～7/30公募)として、9/8協力団体とし道内より帯広市が決定(全国11団体) ・スマートプラチナ社会の実現を目指し、11月末セミナーを開催予定。
3. 人材の育成・確保		
教育分野におけるICT化を促進し、学校、家庭をシームレスに繋ぐ教育・学習環境を実現することによって人材育成を図る。	先進的教育システム実証事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「先導的教育システム実証事業」においては、総務本省において8/11から公募が開始(9/5㍻)されたが、道内からの応募案件はなし。全国で3地域(1地域あたり4校)が採択予定。 ・平成27年度概算要求として、教育の情報化に取り組む自治体への施策周知や関心自治体からの相談に対応。
4. 産業を支える基盤づくり／(1)食やものづくり産業に係るインフラの充実		
攻めの農林水産業づくりや北海道の高品質な農水産物の海外輸出を促進するため、衛星利用やセンサー技術等を導入したICTインフラ基盤の整備促進を図るとともに、農地や生産・加工・流通施設等生産基盤の計画的な整備や高能率機械の導入、コンテナターミナルの機能強化や航路の充実に取り組むほか、ばら積み貨物を安定的かつ安価に供給するための大型岸壁、荷役機械などの国際物流機能の強化等を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ①ICT街づくり推進事業 ②G空間プラットフォーム構築事業(G空間シティ構築事業) ③ビッグデータ・オープンデータの利活用の促進(実証事業) 	<ul style="list-style-type: none"> ①ICT街づくり推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度補正で採択された「北見市G空間情報とICT連携活用事業」においては、実証事業の今後の普及展開を図るべく、H26.7.15 地域懇談会を開催。 ・平成25年度補正予算「ICT街づくり推進事業」の公募において、8/26全国15提案中5件が委託先に決定。道内提案(1団体)は不採択。 ②G空間シティ構築事業、③ビッグデータの利活用の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度補正予算「G空間シティ構築事業」の公募において、7/18岩見沢市からの提案「高精度測位やビッグデータを活用したネットワークロボットに関する地域利活用モデル実証事業」が委託先に決定。9/22コンソーシアム代表HITと契約完了。
4. 産業を支える基盤づくり／(2)観光・物流インフラの充実		
道内における超高速ブロードバンド環境整備を図る。	情報通信利用環境整備推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・道内自治体に対して、超高速ブロードバンド整備意向調査を実施し、平成27年度整備意向のある3団体を総務本省へ要望提出。平成27年度概算要求として12億円計上。

5. バックアップ拠点機能の発揮		
<p>リスク分散の視点を重視した生産拠点や本社機能も含めたオフィスの移転・分散化、データセンターなどの企業誘致を促進する。</p>	<p>①データセンター地域分散化促進税制 ②地域の元気創造プラン「分散型エネルギーインフラ整備事業」</p>	<p>①データセンター地域分散化促進税制 ・関心のあるデータセンター事業者からの相談に対応。 ・税制の制度延長について平成27年度総務省所管予算概算要求に盛り込み要求中。 ②地域の元気創造プラン「分散型エネルギーインフラ整備事業」 ・6月30日 石狩市が提案した「石狩スマートエネルギーコミュニティ構想」が、平成26年度分散型エネルギーインフラプロジェクト・マスタープラン策定事業に採択。(委託予定額 5,500千万円)</p>